

コロンビア経済情勢（７月）

７月のコロンビア経済概況は以下のとおり。

コロンビア定期報告（７月の経済）

【ポイント】

- ベレス鉱業エネルギー大臣、辞表を提出（１９日）
- ２０２４年国家予算案の議会提出（２９日）
- 中銀政策決定会合、全会一致で１３．２５％に据置き（３１日）

【本文】

１ 主な出来事

〈国内情勢〉

（１）金融政策・物価関連

ア ６月生産者物価指数、前年同月比３．６５％減（「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、６日）

国家統計局（ＤＡＮＥ）によれば、６月生産者物価指数（ＩＰＰ）は、前年同月比３．６５％減となった。鉱業は３６．１０％減となった一方、農業は５．５８％増、工業は６．９１％増となった。

イ ６月インフレ率、１２．１３％（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、「エル・エスペクタドル」紙、１１日）

ＤＡＮＥは６月消費者物価指数（ＩＰＣ）を発表、６月のインフレ率は年率１２．１３％となった。５月の１２．３６％よりも低い数値。インフレ率は３月の１３．３４％を最高値に、その後低下している。

ウ ３－５月期非正規雇用率５６．７％（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、１１日）

ＤＡＮＥによれば、３－５月期の非正規雇用率が前年同期比で１．４ポイント改善し、５６．７％となった。現在の就業者は２，２７０万人で、うち９８３万人が正規雇用、１，２８０万人が非正規雇用となっている。また、主要１３都市での非正規雇用率は４１．９％となっている。

エ ７月インフレ率予測、１１．６４％（「ポルタフォリオ」紙、１９日）
Fedesarrollo 及びコロンビア証券取引所（ＢＶＣ）によれば、２０２３年７月の政策金利は１３．２５％に据え置かれ、年末には１１．７５％になると見られている。また、７月のインフレ率の予測は１１．６４％、年末には９．１６％と予測されている。為替は７月に４，０７６～４，１２７ペソで推移しているが、１０月に４，２００ペソ、年末には４，２５０ペソになると見られている。

オ 中銀、政策金利を 13.25%に据置き（「ポルタフォリオ」紙、31日）

31日、中銀政策決定会合が開催され、全会一致で 13.25%に据置きを決定した。同決定は、6月のインフレ率が 12.1%（年率）であったことを踏まえたもの。ビジュアル中銀総裁は「同決定によりインフレが抑制され、（インフレ目標に向けた）期待する好ましい展開となっている。」と評価した。

（2）財政関連

ア 財務公債省、燃料補助金で 8 兆ペソをエコペトル社へ（「ラ・レプブリカ」紙、10日）

ボニジャ財務公債大臣は、ガソリン価格の引上げが続くと発言したが、理由は燃料価格安定化基金（F E P C）の赤字削減にある。エコペトル社は、財務公債省が 8 兆 3,680 億ペソを燃料補助金として支出することを認めたと発表した。同金額は 2022 年下半期の支払分に充てられる。2023 年の F E P C の赤字は 18.5 兆ペソに達するものと見られる。

イ 予算執行率 27%、過去 22 年間で最低（「エル・ヌエボシグロ」紙、12日）

2023 年 5 月時点の国家予算執行率は、2001 年からの歴代政権の中で最も低い 27%となった。財務公債省、労働省等の予算執行が遅れている。

ウ 年末から軽油価格引上げか（「ラ・レプブリカ」紙、13日）

財務公債省は、軽油価格の引上げを視野に入れている。ボニジャ財務公債大臣は、2024 年に軽油価格が 1 ガロンあたり 1 万 5,000 ペソ近辺となると発言した。7 月 12 日時点で、国内外の軽油価格の差は 1 ガロンあたり約 5,600 ペソとなっている。

エ 2024 年国家予算案の議会提出（「ポルタフォリオ」紙、29日）

29日、ボニジャ財務公債大臣は、2024 年国家予算案を議会に提出した。同予算案は、前年よりも GDP 比で 3.3%増の GDP 29.6%相当の総額 502.6 兆ペソ（約 18.3 兆円）。

（3）鉱業エネルギー関連

ア 国内主要都市のガソリン価格（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、2日）

電力・ガス規制委員会（C R E G）によれば、7月のガソリン価格は 1 ガロンあたり 600 ペソ増加した。主要 3 都市のガソリン価格は、1 ガロンあたりそれぞれ、ボゴタ市 1 万 3,373 ペソ、メデジン市 1 万 3,306 ペソ、カリ市 1 万 3,397 ペソとなっている。

イ ラ・グアヒラ県の風力発電所をワジュ族に譲渡（「ポルタフォリオ」紙、6

日)

鉱業エネルギー省及びメデジン公社 (EPM) は、ラ・グアヒラ県のヘピラチ風力発電所 (19.5メガワット) が地元住民のものとなる旨発表した。ベレス鉱業エネルギー大臣によれば、同発電所は先住民ワジュ族との共同所有となる。なお、同発電所は本年下半期に解体が予定されていたもので、今後の操業継続には資機材の交換等が必要となる。

ウ 5月天然ガス4.2%減、原油3.6%増 (「ポルタフォリオ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、7日)

炭化水素庁 (ANH) によれば、5月の天然ガス生産は前年同月比4.22%減の10.65億立方フィート、原油生産は前年同月比3.59%増の日量77万3,789バレルとなった。

エ 2024年から原油減産に (「エル・エスペクタドル」紙、10日)

国際エネルギー機関 (IEA) によれば、ブラジル、アルゼンチン、ガイアナを除き、ラ米諸国の原油生産は低下すると報告した。コロンビアについては、新規原油契約を締結しないとする政府の方針と原油生産の低下との関係は明白であると指摘、2024年から生産が低下しはじめ、2028年までは低下傾向が続くと分析した。また2023年末までのコロンビア原油生産は日量78万バレル、24年75万バレル、25年71万バレル、26年68万バレル、27年65万バレル、28年62万バレルと漸減し、5年間で20.5%減となると予測した。

オ 海事局及びANH、洋上風力発電プロジェクト協定に署名 (「ラ・レプブリカ」紙、13日)

海事局 (DIMAR) 及びANHは、洋上風力発電プロジェクトの実施に係る両機構間文書に署名した。鉱業エネルギー省は、洋上風力発電の進展はコロンビアのエネルギー移行に不可欠であり、地域のロジスティックス及び港湾機能の強化、投資誘致の好機となる旨説明した。

カ 2052年の電力構成、火力は5%に (「ポルタフォリオ」紙、16日)

鉱業エネルギー計画ユニット (UPME) は、国家エネルギー計画について今後30年間でエネルギー移行が進展し、火力発電が減少し、非在来再生可能エネルギーによる発電が大きな割合を占めるようになると発表した。2022年の電力構成は、火力が30.4% (5,656メガワット)、水力が67.1% (1万2,494メガワット) となっている。

キ ベレス鉱業エネルギー大臣、辞表を提出 (「ラ・レプブリカ」紙、「エル・エスペクタドル」紙、19日)

19日、ベレス鉱業エネルギー大臣は、辞表提出を公表した。同大臣は予算執行に関し、「我々は63.2%と過去と比較しても良好な予算執行率である。」と

述べ、11か月間の大任在任中の業務を振り返るとともに、ペトロ大統領へ謝意を表した。

ク 自給できるのは、天然ガス2024年まで、原油は2027年まで（「ポルタフォリオ」紙、19日）

鉱業エネルギー計画ユニット（UPME）は、国家エネルギー計画における原油及び天然ガスの需給状況についてコメントし、国内での原油の自給が既存の埋蔵量を利用するのみであれば2027年まで、天然ガスは2024年までに国内需要を満たせなくなると報告した。また、UPMEは、天然ガスの需要が現在の日量10億立方フィートから今後30年で16～19億立方フィートに増加すると推計している。

ケ エコペトル社、ラ・グアヒラ県付近海底に天然ガス・パイプラインを建設（「エル・ヌエボシグロ」紙、25日）

エコペトル社は、天然ガス埋蔵量の拡大を目指す。ラ・グアヒラ県沖の洋上ガス田のオルカ鉱区から内地に向け海底にガス・パイプラインを建設し、内地の既存施設と接続する。ANHによれば、天然ガスの可採年数は2030年までで、新規天然ガス埋蔵量がない場合、2026年から天然ガスを輸入しなければならない見込みとなっている。

コ 一般炭生産、2、500万トンに達する（「ポルタフォリオ」紙、26日）

全国石炭業者連盟（FENALCARBON）によれば、2023年第1四半期の一般炭（主に発電用燃料に使用）の生産量は2、500万トン、原料炭（主にコークス材料に使用）は250万トンであった。また、国家鉱業庁（ANM）によれば、2023年末までの年間生産量は、一般炭5、500万トン、原料炭400万トンと昨年並みと予測される。

（4）インフラ関連

ア ボゴタ・メトロ関連

（ア）ボゴタ・メトロ2号線、一次入札期限を8月11日まで延長（「ラ・レプブリカ」紙、7日）

5月15日にボゴタ・メトロ2号線の入札プロセスが開始しているが、一次入札受付期限が延長され、8月11日までとなっている。また、ボゴタ・メトロ公社によれば、一次入札を通過した企業に対し、9月29日から2024年2月14日までに二次入札を受け付ける。

イ ラ米開発銀行（CAF）、ボゴタ・メトロ2号線への融資2億5、500万ドルを承認（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・エスペクトADOR」紙、14日）

ラ米開発銀行（CAF）及び財務公債省は、総額70億ドルの対コロンビア戦

略（2023－26）を発表した。2023年以内に総額7億ドルの融資承認が見込まれる。また、総額70億ドルのうち、2億5,500万ドルはボゴタ・メトロ2号線の融資に充てられる。同融資は償還期間15年、据置期間4年。ディラス・グラナドスCAF総裁は、2000年から2022年までの対コロンビア融資は277億ドル、現在の融資残高は38億ドルであると述べ、上記戦略が国家開発計画に基づいている旨説明した。

ウ ボゴタ・メトロ1号線高架線工事開始（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、25日）

25日、ボゴタ・メトロ1号線の高架線工事を承認する文書が、ロペス・ボゴタ市長、ナルバエス・ボゴタ・メトロ公社社長及びWen Dingメトロ1号線代表により署名された。高架線の全長は24kmで、6両編成の電車30本が走行する見込み。車両基地等の建設が進んでおり、工事の進捗は現時点で24.23%。

（5）その他

ア 6月自動車販売台数38.1%減（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、1日）

自動車販売台数は11か月連続の減少となった。ANDDEMOSによれば、6月の自動車販売台数は1万4,425台（前年同月2万3,323台）であった。2023年上半期に販売台数が多かったのは、ルノー（2万4,357台）、トヨタ（1万2,590台）、シボレー（1万1,623台）となっている。

イ ラ・グアヒラ県に対する非常事態宣言発出（「ラ・レプブリカ」紙、2日）

2日夜、政府はラ・グアヒラ県を対象に経済・社会・生態系分野の非常事態宣言（期間30日間）を発出した。ペトロ大統領は、同宣言が2日より発効すると述べ、エルニーニョ現象による干ばつ対策を目的として県民のために2つの淡水化施設を建設する旨明らかにした。

ウ 外国人観光客の増加（「ポルタフォリオ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、「エル・エスペクタドル」紙、4日）

商工観光省の推計によれば、2023年5月の非居住入国者数は37万5,409人と、過去3年間の年間あたりの入国者数で最大となった。また、1－5月期の非居住訪問者数は、前年同期比36.7%増の224万9,411人を記録した。

エ 大衆経済の産業活性化（「ポルタフォリオ」紙、5日）

商工観光省及びiNNpulsa（企業支援を担う商工観光省外局）は、大衆経済の振興及び国内各地の生産力向上を目的として、産業活性化センター（名称Zasca）を設置した。国内の地方統合及び生産チェーンを通じて技術的・経済的格差を埋めるための政策の一つとなる。

オ 6月コーヒー生産（「ポルタフォリオ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、8日）

コロンビアコーヒー生産者連盟（FNC）は2023年6月のコーヒー生産量が前年同月比1%増の95万6,000袋（60kg／袋）であったと発表した。他方、直近12か月での生産量は前年同期比13%減となった。

カ 2023年コロンビア経済、1.2%成長（「ポルタフォリオ」紙、12日）

バンコロンビアは2023年、2024年の経済予測を修正し、2023年の経済成長率を0.6%から1.2%に上方修正、2024年の経済成長率を金融政策が1.5%から1.2%へ下方修正した。

キ 家計消費、11%減（「エル・ヌエボシグロ」紙、16日）

家計消費（4-6月期）は、前年同期比11%減となり、2021年1月以来2番目に低い水準となった。今後の物価及び金利の低下は緩やかなものと予測され、引き続き消費は低下傾向が続くと見られるが、6月家計消費では前月比でペット、教育、保険・金融サービスの分野で消費が上向いた。

ク バンコ・デ・ボゴタ予測、2023年GDP成長率1.5%、インフレ率8%（「ラ・レプブリカ」紙、25日）

バンコ・デ・ボゴタは2023年のマクロ経済予測を発表、GDP成長率が1.5%、インフレ率が8%と予測した。また、2024年のGDP成長率は1.6%と予測した。

〈対外経済関係〉

（1）通商関連

ア 国境再開により対ベネズエラ貿易増加（「ポルタフォリオ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、「エル・エスペクタドル」紙、27日）

7年間国境が閉鎖されていたノルテ・デ・サントアンデール県のベネズエラ国境が2022年9月26日に再開後、6月末までに両国間の輸出入が1億4,380万ドルに達した。このうち、コロンビアからの輸出は1億3,040万ドル、ベネズエラからの輸入は1,340万ドルとなった（商工観光省）。DANEによれば、対ベネズエラ貿易は、2023年1-5月期で前年同期比21.7%増の3億0,370万ドルとなっている。

イ 5月輸出統計（「ポルタフォリオ」紙、6日）

DANEによれば、5月の輸出が前年同月比2.8%減の45億3,120万ドルとなった。減少の大きな理由は、原油・石油製品、農牧産品・飲食料の輸出低下。

ウ エコペトル社、チリ向けにアスファルト1.2万トン进行初輸出（「ラ・レプブリカ」紙、11日）

エコペトル社は、チリ向けに初めてアスファルト1.2万トン进行輸出した。

アスファルトはバランカベルメハ製油所で製造され、チリのベントナス港及びメヒジョネス港で荷渡しされる。エコペトル社は、アスファルトを欧米、中米カリブ、アフリカ諸国に輸出しており、2023年第1四半期には前年同期比26%増の5.1万トンを輸出している。

エ コロンビア、日本との経済関係強化（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、13日）

コロンビア・日本の両国政府は、貿易投資・産業協力合同委員会を設立する覚書（MOC）に署名。両国の経済発展を含む均衡の取れた持続可能な成長を目指す。

オ 米国、引き続きコロンビアの主要輸出国（「ポルタフォリオ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、13日）

11日、在コロンビア米国商工会議所（Amcham Colombia）は、米国が引き続きコロンビアの輸出相手国の第1位であると発表した。Amchamによれば、コロンビアの輸出の26%が米国向け。2023年5月末時点（1－5月期）の対米コロンビア輸出額は、前年同期比11%減の53億1,020万ドル、減少理由は鉱業エネルギー製品輸出の低下であった。

カ 対キューバ輸出（「ポルタフォリオ」紙、19日）

DANEによれば、1－5月期のコロンビアの対キューバ輸出は、前年同期比49%増の2,160万ドルとなった。対キューバ輸出の主要産品は、バス、石油製品、衛生用品、製粉製品等。コロンビア貿易協会（ANALDEX）は、キューバの需要に応え、輸出増の可能性があると見ている。

主な経済指標

経済活動指標	2022/05	2023/03	2023/04	2023/05
国内総生産(四半期)(DANE): %	12.3	3.0	—	—
経済活動指数(DANE): %	17.1	1.6	—	—
経済活動指数第1次産業(DANE): %	9.5	3.8	—	—
経済活動指数第2次産業(DANE): %	32.2	−1.7	—	—
経済活動指数第3次産業(DANE): %	15.8	1.8	—	—
エネルギー需要(XM): GWh	6,578	6,651	6,366	6,845
エネルギー需要—前年同月比(XM): %	8.9	1.8	1.8	4.0
雇用				
全国平均失業率(DANE): %	10.6	10.0	10.7	10.5
主要13都市失業率(DANE): %	11.0	10.5	11.1	11.2
消費				
消費者信頼感指数(FEDESARROLLO): %	−14.7	−28.5	−28.8	−22.8
実質小売売上高指数(DANE): %	34.8	−7.1	−6.9	—
自動車販売台数(単月)(ANDEMOS): 台	22,435	17,270	13,777	15,695
自動車販売台数(年内累計)(ANDEMOS): 台	100,526	46,962	60,739	76,434
物価				
消費者物価上昇率—前月比(DANE): %	0.84	1.05	0.78	0.43
消費者物価上昇率—前年同月比(DANE): %	9.07	13.34	12.82	12.36
生産者物価上昇率—前月比(DANE): %	3.13	−0.84	−1.34	−1.73
ガソリン価格(ボゴタ)(鉱山省): ペソ/ガロン	9,372	11,173	11,573	12,173
生産				
実質工業生産指数(DANE): %	46.2	−2.0	−6.4	−3.4
実質工業売上高指数(DANE): %	45.5	−3.1	−7.7	−2.2
新規建設着工承認面積(DANE): m ²	1,827,007	1,774,360	1,459,129	2,187,298
コーヒー生産量(FNC): 千袋(60Kg)	1,017	799	566	806
コーヒー生産量—前年同月比: %	65.1	−23.9	−30.1	30.9
コーヒー価格(IOC)/ 11月から “SUAVE”: USD	285.2	228.2	232.4	229.1
石油生産量(日量)(鉱山省): バレル	746,937	771,547	782,277	—
石油生産量—前年同月比(鉱山省): %	6.2	3.5	4.9	—
石油生産量(日量・年内平均)(鉱山省): バレル	746,519	768,483	771,931	771,931
石油価格WTI: USD / バレル	109.55	73.28	79.45	71.58
金融				
政策金利(中央銀行): %	6.00	12.75	13.00	13.25
為替 月初(中央銀行): COP	3,966.27	4,814.11	4,646.08	4,669.00
為替 月末(中央銀行): COP	3,912.34	4,627.27	4,669.00	4,408.65
為替 最高値(中央銀行): COP	4,110.53	4,866.50	4,669.00	4,713.08
為替 最安値(中央銀行): COP	3,912.34	4,627.63	4,424.02	4,408.65
株式指数 月初(中央銀行): COP	1,582.67	1,198.89	1,183.20	1,157.99
株式指数 月末(中央銀行): COP	1,603.23	1,157.59	1,198.81	1,099.03
株式指数 最高値(中央銀行): COP	1,613.72	1,241.44	1,257.24	1,164.18
株式指数 最安値(中央銀行): COP	1,411.11	1,106.24	1,167.51	1,092.64
貿易				
貿易収支(FOB)(DANE): 百万米ドル	−1,623	−1,084	−923	−599
輸出額(FOB)(DANE): 百万米ドル	4,553	4,463	3,739	4,531
輸出額(FOB)—前年同月比(DANE): %	47.0	31.9	25.6	46.3
輸出額(FOB)年内累計(DANE): 百万米ドル	22,927	12,360	16,099	20,630
輸入額(CIF)(DANE): 百万米ドル	6,805	5,857	4,943	5,419
輸入額(CIF)—前年同月比(DANE): %	55.6	18.7	5.2	23.9
輸入額(CIF)年内累計(DANE): 百万米ドル	32,138	16,445	21,387	26,806
労働者送金(中央銀行): 百万米ドル	841	858	737	877